

## インド子会社 SSMI が再エネ由来電力の購入契約を締結

インドで特殊鋼製造・販売の事業を営む子会社 Sanyo Special Steel Manufacturing India Pvt. Ltd. (以下、「SSMI」)は、インド最大の総合電力企業 Tata Power Company Limited の子会社である Tata Power Renewable Energy Limited (以下、「TPREL」)と、太陽光発電による再エネ由来電力の購入契約を締結しました。

TPREL は、インド全域で風力および太陽光発電の開発や運営を行う再エネ企業で、2024年3月を目途にSSMIが立地するマハラシュトラ州内に容量120MWの太陽光発電プラントを設置するプロジェクトを進めています。

SSMIは、うち28MW分に係る太陽光発電の電力(61.875百万KWh/年)を同社グループから購入し、自社の特殊鋼製造に使用することといたしました。これにより、SSMIは自社の特殊鋼製造過程で排出するCO<sub>2</sub>のおよそ25%に相当する最大42,534トン/年のCO<sub>2</sub>排出量を削減できる見込みです。

SSMIは、持続可能な社会の実現に向けて、2030年にCO<sub>2</sub>排出原単位を2016年度比40%削減すること、さらに2050年のカーボンニュートラルを目標に掲げ、これまでも、燃料転換やエネルギー効率の高い設備の導入等によるCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んできました。2022年はCDP気候変動スコアで「B」の評価を取得しています。今後、再エネ電力を積極的に活用することで、更なるCO<sub>2</sub>排出量削減を図ってまいります。

全世界で気候変動問題への対応が求められるなか、山陽特殊製鋼グループは、日本国内はもとより、欧州Ovako、インドSSMIを含めたグローバルな事業活動でCO<sub>2</sub>排出量削減とカーボンニュートラルに向けた取り組みを推進してまいります。



■ 契約を締結したTPRELとSSMIの主要な関係者

※左から、TPREL Kaushik Sanyal氏、Shweta Mathur氏、Shivram Bikkina氏、  
SSMI 鈴木 弘一氏(Executive Director)、Dilip Pachpande氏(Managing Director)、Shailendra Jain氏(CFO)

以上